

ISO14001への取り組み

ISO14001認証取得の全国展開

平成15年3月に「環境基本宣言」を発表し、環境に配慮した経営を行い、エネルギー資源の削減などに継続的に取り組み、その一環として、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得に向けた取り組みを開始し、平成16年8月に野田郵便局(千葉県)と枚方東郵便局(大阪府)が郵便局として初めて認証を取得しました。京都議定書の発効など環境への関心が高まるなか、平成17年2月から環境に大きな影響を及ぼす大規模郵便局の中から新たに25局を追加、さらに平成18年2月からは新たに50の郵便局を追加し、全国77のパイロット郵便局においてこの取り組みを開始し、平成19年3月にマルチサイト方式によりISO14001の認証を取得しました。

1環境マネジメントシステムについては、35ページをご覧ください。
2マルチサイト方式とは、77局のパイロット郵便局を1つの組織としてISO14001の認証を取得する方式



ISO14001認証取得パイロット郵便局一覧

支社	平成17年(Step Ⅰ)	平成18年(Step Ⅱ)
北海道	(北海道)旭川中央局、苫小牧局	(北海道)札幌中央局、函館中央局、帯広局、北見局、旭川東局
東北	(岩手)北上局 (山形)山形南局	(青森)青森西局 (岩手)盛岡中央局 (宮城)新仙台局 (秋田)秋田中央局 (福島)郡山局
関東	(茨城)土浦局 (埼玉)さいたま新都心局 (千葉)野田局	(茨城)水戸中央局 (栃木)宇都宮東局 (群馬)高崎局 (埼玉)川越西局 (千葉)千葉中央局
東京	(東京)調布局、葛飾局	(東京)東京多摩局
南関東	(神奈川)横浜郵便集申局、平塚局	(神奈川)川崎港局、綾瀬局 (山梨)甲府中央局
信越	(長野)長野中央局、松本南局	(新潟)新潟中央局、長岡局 (長野)長野東局
北陸	(石川)金沢中央局、新金沢局	(富山)富山南局 (福井)福井南局
東海	(三重)四日市局 (静岡)静岡南局	(岐阜)岐阜中央局 (静岡)浜松西局 (愛知)名古屋郵便集申局、豊橋南局 (三重)四日市西局
近畿	(京都)京都中央局 (奈良)奈良中央局 (大阪)枚方東局	(滋賀)大津中央局 (京都)福知山局 (大阪)新大阪局 (和歌山)和歌山中央局 (兵庫)神戸中央局、尼崎局、姫路局
中国	(広島)福山局 (山口)下関局	(島根)松江中央局 (岡山)岡山中央局 (広島)広島中央局、福山東局 (山口)徳山局
四国	(香川)高松中央局 (愛媛)松山西局	(徳島)徳島中央局 (香川)高松南局 (高知)高知東局
九州	(福岡)飯塚局、久留米東局	(福岡)北九州中央局 (長崎)大村局 (熊本)熊本北局 (大分)大分東局 (宮崎)宮崎中央局 (鹿児島)鹿児島中央局
沖縄	(沖縄)那覇中央局	
合計	27局	50局

平成18年度における主な取り組みおよび成果

会議資料などの両面印刷や縮小印刷の徹底
 不要電灯の消灯や蛍光灯の間引き
 エレベーター稼働時間の見直し
 (2アップ、3ダウンの階段利用)
 区分機の効率的な稼働
 (使用しない時間帯の主電源OFF)
 洗濯機の使用抑制
 (バケツ・ブラシを使用した洗車の推進)
 ボイラーなどの運行時間の見直し
 (冷房温度28度、暖房温度18度に設定)
 エコドライブの推進
 エコドライブコンテストの実施
 中古パソコンの回収
 家電リサイクル券の販売
 廃蛍光灯のリサイクルによる廃棄物削減
 グリーン商品の購入
 環境美化活動 清掃ボランティア活動など
 環境教育による職員などの環境意識の向上

パイロット郵便局全体の 平成18年度の取り組み結果

コピー用紙使用量	28.3%削減
電気使用量	15.8%削減
上水道使用量	26.0%削減
重油使用量	29.5%削減
ガス使用量	28.4%削減
灯油使用量	25.7%削減
(以上平成14年度比)	
車両燃費	3.6%向上
(平成16年度比)	
中古パソコン	13,066台回収
家電リサイクル券	12,604枚販売

ISO14001コーナーなどの「見える化」

高崎局

スイッチ場所の案内表示



スイッチごと対応エリアの表示



主電源のオフ(オン)漏れを防止



主電源オフ時間帯の表示



新大阪局

光熱水などのエコグラフ



ISO14001推進ボード



熊本北局

環境の取り組み施策



階段のスペース利用

